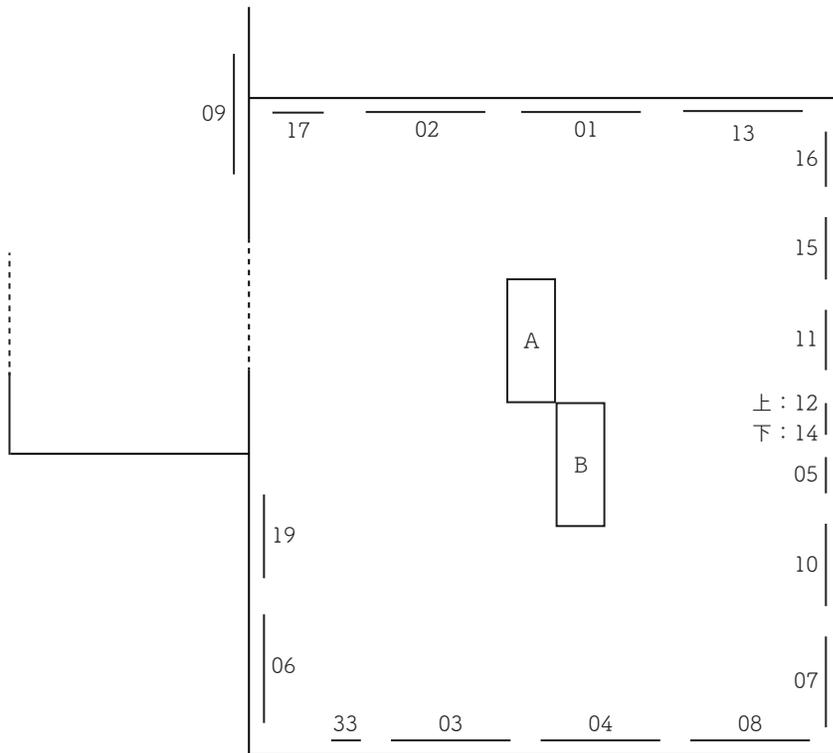


G3-Vol.134

川野美華 展 Nighthawks

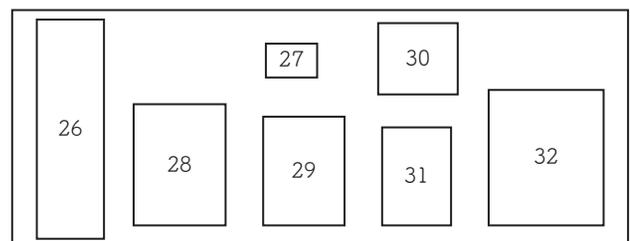
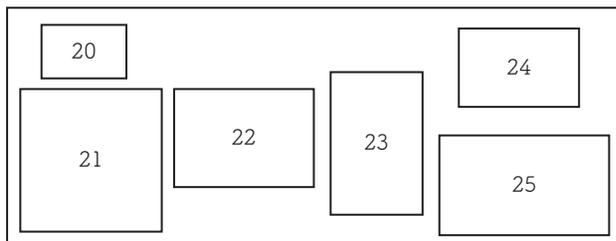
2020.4.29 (水・祝) ~ 7.5 → 8.30 (日)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月21日よりオープン。
7月8日より井手宣通記念ギャラリーに展示室を変更し、会期を延長しました。



A

B



凡例

作品データは、次の順に記した。

- 作品番号
- タイトル
- 制作年
- 寸法 (縦 × 横)
- 材質・技法
- 所蔵

01

受胎告知II

2011

145.4 × 145.4 cm

油彩、ビーズ、ボタン、キャンバス

個人蔵

02

イカロス

2009

162.0 × 162.0 cm

油彩、蜜蝋、ビーズ、蟬の羽、絆創膏、ボタン、リボン、キャンバス

個人蔵

03

夜行性の庭 I

2010

162.0 × 162.0 cm

油彩、蜜蝋、ビーズ、つけまつげ、リボン、ボタン、キャンバス

個人蔵

04

夜行性の庭 II

2011

162.0 × 162.0 cm

油彩、ビーズ、ボタン、チェーン、キャンバス

個人蔵

05

夜行性の庭 III

2012

53.0 × 45.5 cm

油彩、桜貝、蝶の羽、絆創膏、テグス、キャンバス

作家蔵

06

夜行性の庭 IV

2012

112.0 × 145.5 cm

油彩、テグス、ボタン、キャンバス

個人蔵

07

夜行性の庭 V

2013

116.7 × 116.7 cm

油彩、ビーズ、つけまつげ、リボン、ボタン、キャンバス

個人蔵

08

夜行性の庭 VI

2013

162.0 × 162.0 cm

油彩、ビーズ、つけまつげ、蟬の羽、ボタン、リボン、キャンバス

弥栄画廊 蔵

09
夜行性の庭Ⅶ
2014
162.0×162.0 cm
油彩、蜜蝋、ビーズ、時計の針、
蝉の羽、ボタン、キャンバス
個人蔵

10
夜行性の庭Ⅷ
2015
116.7×116.7 cm
油彩、ビーズ、つけまつげ、ボタン、
キャンバス
個人蔵

11
夜行性の庭Ⅸ
2016
80.3×116.7 cm
油彩、蜜蝋、ビーズ、つけまつげ、まち針、
ピン、絆創膏、ボタン、キャンバス
個人蔵

12
夜行性の庭Ⅹ
2016
24.2×41.0 cm
油彩、蜜蝋、ビーズ、ボタン、
キャンバス
個人蔵

13
夜行性の庭Ⅺ
2017
162.0×162.0 cm
油彩、ビーズ、つけまつげ、まち針、
蝉の羽、リボン、ボタン、紙、接着剤、
キャンバス
個人蔵

14
夜行性の庭Ⅻ
2018
45.5×38.0 cm
油彩、蜜蝋、ビーズ、つけまつげ、糸、
ボタン、キャンバス
個人蔵

15
夜行性の庭 XIII
2018
91.0×91.0 cm
油彩、蜜蝋、ビーズ、つけまつげ、貝、
キャンバス
個人蔵

16
夜行性の庭 XIV
2019
80.3×80.3 cm
油彩、ビーズ、つけまつげ、鉛筆の芯、
ボタン、キャンバス
個人蔵

17
HIKIKOMORI
2019
30.0×60.0 cm
油彩、ビーズ、つけまつげ、ボタン、
キャンバス
個人蔵

19
Nighthawks
2020
145.5×112.0 cm
油彩、ビーズ、ビジュエ、
つけまつげ、ボタン、まち針、筆先、
チェーン、キャンバス
作家蔵

20
ぼんぼり
2018
9.6×14.7 cm
油彩、蜜蝋、ビーズ、キャンバス
個人蔵

21
Himmel
2018
27.3×27.3 cm
油彩、蜜蝋、ビーズ、ボタン、
キャンバス
個人蔵

22
Mt. Mojimoji
2014
24.2×33.3 cm
油彩、ビーズ、つけまつげ、貝、
キャンバス
個人蔵

23
Window shopping
2012
27.3×16.0 cm
油彩、ビーズ、キャンバス
個人蔵

24
CHERRY
2013
14.0×18.0 cm
油彩、ビーズ、ボタン、
キャンバス
個人蔵

25
SING
2012
23.5×35.0 cm
油彩、マスキングテープ、
キャンバス
個人蔵

26
セイレーン
2010
58.0×13.4 cm
油彩、ビーズ、板
個人蔵

27
SMOG CAT III
2008
7.0×7.0 cm
油彩、ビーズ、キャンバス
個人蔵

28
微睡み子ちゃん
2012
22.7×15.8 cm
油彩、リボン、キャンバス
個人蔵

29
微睡ミオくん
2018
20.0×15.9 cm
油彩、蜜蝋、ビーズ、パネル
個人蔵

30
まいご ごご
2017
5.8×7.0 cm
油彩、ビーズ、キャンバス
個人蔵

31
お地蔵
2018
18.0×14.0 cm
油彩、ビーズ、キャンバス
個人蔵

32
Mt. ANGURI
2017
31.0×24.0 cm
油彩、ビーズ、キャンバスボード
個人蔵

33
"Der Pilz steht auf dem Bett"
(キノコはベットに生える)
2018
20.0×20.0 cm
油彩、ビーズ、ボタン、
キャンバス
個人蔵

※18《聖アグネスⅡ》は7月5日(日)
までギャラリーⅢでのみ展示。

私にとっての私の絵画

西洋神話や聖書などの宗教画のなかには、

キリスト＝子羊（穢れのない生贄）

マリア＝雄蕊のない百合の花（純潔）

などのアトリビュートがその人物や事柄の象徴として表現されています。

まるで暗号のように、誰も知らない私の絵画世界だけの

アトリビュートをちりばめて絵にしたらどんなに楽しいだろう

心躍る瞬間です。

西洋神話や聖書の題材を、私自身の日々の生活を引きずり込んでやみつきになって描きはじめました。



《イカロス》2009

蠟で固めてつくった羽で幽閉された牢屋から逃げる父と息子。

太陽に近づくなという父の教えを守らず、太陽の熱で接着剤の蠟がとけて羽を失い死んでしまう息子イカロス。

小学生のとき、音楽の授業でイカロスの合唱があって、物語の内容は鮮明に覚えていました。

太陽に近づく「勇気」と、裏返しにされた「親の注意はよく聞いておくものである」というイカロス神話の教えは、当時、実感もって描くことができました。



《夜行性の庭 I》2010

夜行性の庭は、病気で外に出ることができない女の子が、夜な夜な宴会をしている庭の生きもの達を見つけ、窓から眺める場面から始まります。

女の子はあまりに踊り狂っている庭の生きもの達を「夜は水やりをしないのに、喉が渇いてしまわないか」心配して、ある夜、ジョウロをもって部屋を抜け出して水をあげます。

閉ざされた一人ぼっちの部屋と違って、庭の住人たちとの時間はとても愉快で優しく、女の子はどんどん深くのめり込んでいきます。

そのうち、水をあげていた手がジョウロに変形していき、ギブ&テイクの形もだんだんと変化し、夜と夜明け、内と外の境目がなくなり、やがて女の子の世界はおかしな次元に回りだしてしまいます。



《夜行性の庭IV》2010

私が小さいころ、家の庭には大きな黒蛇が住みついていた。

全体は見えないけれど黒い影が横切ったり、岩の隙間から鱗が見えたり、ぬけ殻をみつけて喜んでいました。

私はその黒蛇を家の守り神みたいに頼もしく思っていて、庭の大きな主の邪魔にならないように子供心に敬意をはらいながら、どうしたら「仲良くなれるか」思いをはせていました。

